

2015 年 12 月 15 日版

TQ技術愛好者のために
サイト案内
www.jomaca.join-us.jp

TQ 事業協会運営部長
山田 ^{まなぶ} 学

※ TQ 技術の本質は、やまとことばの声と無関係でなく、
旧かなづかひをお許してください。

はじめに

わたしが父から継承した、TQ 技術。

そもそも、TQ 技術愛好者のために、JOMON ^{縄文} あか데미いサイトを、創りはじめました。

が、TQ 技術の社会化と学問化、これは、特殊なのです。

19 世紀と 20 世紀は、〈電磁場^ば〉の時代であつた。

21 世紀は、〈酵素活性場^ば〉の時代であらう。〈酵素活性場〉は、TQ 技術に関係する、中心概念です。

わたしは、西暦 2100 年をめざし、あらゆる問題を、ひろく、深く、考へてきました。

結果、JOMON あか데미いサイトが、難しくなりすぎた。

このあたりにて、TQ 技術愛好者のために、入門から奥義まで、サイトの案内をいたませう。

「君はこのサイトをどう活用できるかな!？」と、問ひかけつつ...

一度は、印刷してじっくり、全体を、味読してください。

日常は、この PDF の画面から、直接、サイト内の各内容へ、飛べます。

各内容が、サイトのどの画面内にあるか、示すため、次の記号を、各内容名の前に、小さく付けます。

て = 「店頭」画面 は = 『はじまる。』画面 け = 〈健康平和研究〉画面

り = 「理念集」画面 う = “歌声再生”画面

また、内容に、「有益さ主張」が付いてゐる場合、内容の前に、【益】を付けます。

TQ技術

TQ 技術については、1956 年生れの、わたしの世代だけでなく、わたしの子

や孫の世代にこそ、期待してゐます。〈次世代賢人化計画〉、なのです。さういふ世代から、「TQ 技術のエジソン」が、出てほしい。その祈りから、12 歳向けに書いた、て【益】『うらしま TQ たろう』。

今の大人向けとして、て【益】 TQ 技術ご案内。て【益】 TQ 事業協会の根本方針。

JOMON あかでみい全体の目的は、『JOMON あかでみい教科書 1 縄文るねっさんすがはじまる。』といふ、本 1 冊分の文章を、書きました。16 歳向けです。て【益】『はじまる。』画面に、収めました。とくに、そのなかの、は第五章「ひとつの現象」が、TQ 技術の歴史と展望、についての文章です。

TQ 技術開拓者が〈反骨の技術屋〉の息吹を、公開した瞬間。それは、て【益】山田俊郎講演録を、お読みください。

TQ 技術継承・管理者 (わたし) の、文学的な自己紹介文。それは、り【益】〈わたくし紹介〉を、お読みください。

TQ 技術の継承と管理は、たとへば、道元禅師のやうな、厳しさも、求められませう。て【益】「TQ 禅問答」といふ文章も、書きました。

一方、大学・官庁・企業などの、研究所向けに。日本社会のものづくりの、その進化として、TQ 技術を、位置づけた、け〈ものづくり進化論〉。

JOMON あかでみいの理念を、諸方面の、一流の研究者向けに、書いた。一般人には、難解な、諸文章を集めた、て【益】「理念集」画面があります。そのなか、TQ 技術についての文章は、り【益】「TQ 技術の理解へ」です。

TQ 技術の学問化と社会化のため、わたしは 1994 年に、『学問の転換』といふ本を、書きました。それについて、て【益】入手説明。

日本の思想

TQ 技術の社会化と学問化。これを保護し、推進するためにこそ、わたしは、実にさまざまな、情念と思索が、必要となつてまゐりました。

つまり、JOMON あかでみいは、人間社会人民の、健康平和生活を、生産してまゐります。それへ向け、認識と表現と労働と生産と休養、これを統一してまゐります。とくに、認識を、健康平和な現実認識の世界学、これへ統一してまゐります。

まづ、暗さのどん底から、希望の呼吸を、産みだした。て【益】“歌声再生”画面。また、この画面から、う〈健康平和三重円〉といふ旗。標語などとして、〈うやすらげ。地球人。／う WANTED なまやまだ／うイマジン訳〉。JOMON あかでみいサイトじたいのう【益】。

思想詩として、り【益】〈思想志、坦たん〉。

道徳への通信と会場を。て [【益】](#) [〈道徳社のすすめ〉](#)。

道徳への理念。り [【益】](#) [〈健康平和生活への道〉](#)。

小学生用のことわざたちから、全面的な物語へ。て [【益】](#) 『生きることわざ
まんだらよ』その文章と図解。

さて、なぜ縄文なのか。は [第二章「原始の日本」](#)。ここに触れた、『神々の発
見』といふ本について、て [【益】](#)。この本を探すため、て [図書館サイト](#)へ。また、
邪馬台国論争について、て [【益】](#)。ちなみに、て [「邪馬台国の会」サイト](#)へ。

そもそも、やまとことばの根源を探る。り [【益】](#) [「やまとことばの世界観
と音韻の論理」](#)。

やりとりの本質

川喜田二郎先生が創始された、「KJ法」を、学問化していくために。り [【益】](#)
[「認識と労働」](#)。

世界と認識と言語。その本質へ。り [【益】](#) [「対象と言語」](#)。

日本民族を紹介していくため、翻訳とは何か、翻訳機械とは何か。り [【益】](#)
[「日本民族紹介と日英翻訳機械」](#)。

わたしも学んである、日英翻訳サイトについて、て [【益】](#) [ラングテック社
サイト](#)へ。

コンピュータの本質と、人間の本質と。り [【益】](#) [「人間と通信の要点」](#)。

JOMON あかでみいサイトが、インターネットにおいて、どう扱われるか。
て [【益】](#) [関連検索画面](#)。

壁を越えむ

TQ 技術の学問化は、20 世紀思想の壁に、ぶつかります。は [第四章「二十世
紀思想を卒業」](#)。

数学については、り [【益】](#) [「現実論としての数学を」](#)。

物理学については、り [【益】](#) [「物理学再考」](#)。

そもそも、真理とは何か。り [【益】](#) [「脱レーニン」](#)。

そして今、環境問題を、どう考へるか。り [【益】](#) [「環境問題」](#)。

TQ 技術の基礎の、基礎として。り [【益】](#) [「生物系と個人」](#)。

もうひとつの、全面的な、物理学へ。り [【益】](#) [「原子転換論」](#)。

展望の本質

JOMON あかでみいの、社会展望について。は [「大切なまえがき」](#)など。は
[第一章「今の日本」](#)。は [第三章「健康と資本主義」](#)。は [感想文・呼びかけ文](#)など。

そして、け 〈提唱・人間社会規範〉。
また、り 【益】 〈学問本質論〉。
そして、社会展望の、本質論。て 【益】 〈生産発達の本質そして恵まれた日本列島から次の社会を〉。

情勢対応

3.11 も受け、原発問題を、どう考へていくか。別サイトを用意しました。け 【益】 原発論アンケート Ten!!
しみじみつぶやく、け 〈原発問題は、祖先追想道から〉。
近代日本を、原点から、考へる。け 「龍馬問題」。
社会をどう、組織していくか。り 【益】 〈調和社会への社会組織論〉。
教育を、どう考へるか。り 【益】 新教育基本法案。
日本国を、どう考へるか。り 【益】 日本国新憲法案。

実務へ

け 〈JOMON あかでみいといふ組織〉。け 「幹部候補生募集」。け 「未来協同へ寄付金のお願い」。

わたしが父から継いだ、有限会社ナック。これは、何らかの NPO 法人へ、発展的に解消していく、それを検討中です。2006 年度までの、公開として、て 【益】 有限会社ナック経理情報。

たまたま、ご縁のあつた会社の、ある企画のサイトへ。て 【益】 「ダンレボ」サイトへ。

皆みなさまとの、やりとりは、て 【益】 〈健康平和研究〉画面にて。け お客さまの発言募集。〈健康平和研究〉各号、および年度ごとの編集は、期間限定の公開です。このサイト案内からは、飛ばません。公開中のものは、画面を直接、ご覧ください。

実用上は、JOMON あかでみいサイト 「店頭」画面から、入ります。“玄関”画面にて、情報社会のなかにおける、想ひに、触れてをります。